

8. 地域医療包括センター

目次

ケアプランセンター	85
通所リハビリテーション(デイケア)	87

ケアプランセンター

(1) スタッフ

介護支援専門員：圓實 達宏（管理者）
竹岡 安恵（主任）
野尻 由樹子、西田 友紀、田中 宏樹
事務員：柿坂 純子（訪問看護ステーション兼務）

（令和4年3月31日現在）

(2) 特徴

ケアプランセンターは、大阪医科薬科大学三島南病院から徒歩5分の郵便局やコンビニエンスストアが隣接する場所にあり、ご利用者様やご家族様、関係機関の皆様にも頻繁にご来所いただいている。同一建物内の訪問看護ステーション三島南事務所や大阪医科薬科大学病院の敷地内にある訪問看護ステーション事務所本部、大阪医科薬科大学病院、大阪医科薬科大学三島南病院ともシームレスな連携を行い、医療ニーズの高いご利用者様をスムーズに受け入れている。週に1回は勉強会や外部研修の伝達会議を行い、その他にも「地域ケアマネ研究会」を主催し、地域ケアマネの専門的知識や技術の向上に貢献している。

(3) 活動内容と評価

ケアプランセンターは、利用者受持ち人数の制限（ケアマネジャー1人当たり標準取扱件数：35名）に従いながら、当ケアプランセンターを希望される要介護の認定を受けられたご利用者様を受け入れ、地域に貢献した。日常業務としては、大阪医科薬科大学三島南病院、大阪医科薬科大学病院の広域医療連携センター、難病総合センター、入退院支援室及びがん相談支援センターをはじめとして、外部医療機関やサービス事業所、施設等に連絡を取り合い、医療ソーシャルワーカーや退院調整看護師と相談しやすい関係を促進させている。

特に医療機関を退院されるご利用者様が、住み慣れた地域で自分らしい生活を自らが選択できるようにケアマネジャーが側面的な援助を行い、早期に安心して在宅復帰できるよう、院内チームと在宅チームとの強い信頼関係を構築し、ご利用者様やご家族様の利益につながるように、多様なサービスの紹介、提案、コーディネートを行った。その結果、退院・退所加算、入院時情報連携加算、ターミナルケアマネジメント加算を算定し、「特定事業所医療介護連携加算」及び「特定事業所加算Ⅰ」を取得している。

その他の活動として、今年度も大阪府介護支援専門員実務研修の実習者2名を受け入れ、実習受入施設及び教育施設としての役割を果たした。また、令和4年2月にケアマネジャーの入退職があり、管理者および主任介護支援専門員が新入職者教育を行っている。

<利用者数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	178	175	177	178	176	176	183	179	173	146	142	141

(4) 今後の目標

ケアマネジャーと在宅訪問医及び訪問看護と協働した在宅支援を展開し、重度なご利用者様や困難事例にも対応し、多様化した社会ニーズに対応していく。また、大学病院の付施設として、地理的な活動範囲を広げ、これからの地域共生社会の実現に向けて一翼を担うことができるように努力していく。

通所リハビリテーション (デイケア)

(1) スタッフ

所長 宮田 律子
 主任 大三 久美子
 看護師 片岡 裕美、楨峯 真由美
 理学療法士 新木 伸芳、岩 昇平、北岡 透
 介護福祉士 村上 健二、児玉 恵、米田 千恵美、
 横井 由香、大堀 恵、出村 智恵、
 加藤 広志、宮田 夏輝、堀場 寛文
 (令和4年3月31日現在)



(2) 特徴

自宅から施設までの送迎、入浴、リハビリテーション、見守り、食事の提供、食事介助、レクリエーション、体調管理などの在宅支援を実施。対象となる利用者は、脳血管疾患だけでなく、骨折、神経難病など。介護保険を使つての利用。病状の観察、吸引、経管栄養など様々な医療ニーズに応えられる事と、利用者すべてに個別リハビリテーションを実施する事で他施設との差別化を図っている。また、地域医療連携室、ケアプランセンターと連携し、利用者だけでなくご家族様の介護軽減を目指し、レスパイト入院の案内や、訪問看護ステーションとの連携によって、在宅生活での医療ニーズに込えている。

10月のお知らせ

2021年 10月号

月	火	水	木	金	土
				1	2
				柔軟性の向上週間	
4	5	6	7	8	9
おにごぼ体操(認知症の予防)週間					
11	12	13	14	15	16
自力体操(筋力低下の予防)週間					
18	19	20	21	22	23
スポーツ体操(心肺機能の表え予防)週間					
25	26	27	28	29	30
骨盤底筋のトレーニング週間					

※都合により変更になる場合がございます。ご了承ください。

●行事予定●
25日(月)～30日(土)
「体力測定」

①ファンクションテスト
②歩行速度(3m)
③握力測定

この項目のうち可能な測定を行います
数回(5回)に実施した体力測定と
今回の結果を参考に、
今後のケアに
役立ててまいります。

2日 田中様 6日 太田様
7日 田嶋様 8日 井上様
10日 岡田様 10日 武田様
12日 久保様 15日 久留様
17日 横山様 29日 大高様

9月の行事の様子

9月20日に歌会を行いました。
性別になって歌いました。職員対抗の
「即いてかぶってジャンケン」!!
自勝した側は予想以上に盛り上がりました。
その後、豪華なおやつを頂戴し、
最後のお祝いを行いました。

製作
「秋の贈り物」
ぶどう狩りをテーマにした
贈り物を作りました!
おはなみを使って巨峰や
マスクなどと一緒に
作っていました!

大塚東海大学三島南病院デイケア
TEL 072-877-1811

三島南病院デイケアセンター
令和3年 行事予定表

4月 桜ウィーク
5月 フラワーアレンジメント
菖蒲湯を2日間提供します。
6月 体力測定
7月 ティ内カフェ
壁画作り(夏)
8月 夏祭り
9月 敬老会・壁画作り(秋)
10月 体力測定
11月 お楽しみハスタイル・壁画作り(秋)
12月 クリスマス会・フラワーアレンジメント
ゆず湯を2日間提供します。
1月 映像祭り・カレンダー作成
2月 節分
3月 ひな祭り・壁画作り(春)

但し、事情により内容を変更する場合があります。
(詳細は、毎月の予定表でご案内致します。)



(3) 活動内容と評価

1) 利用者人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者数	95	85	96	92	87	85	85	88	87	86	79	84
延人数	694	659	640	637	605	633	648	651	556	516	514	584

2) 人材育成への取り組み

- ・年間研修計画を作成し、職員研修参加を実施。スキルアップを目指す。
- ・大阪医科薬科大学看護学部の老年看護学実習Ⅰの受け入れ実施し、高齢者に馴染みのない学生に、次年度の老年看護学習Ⅱスムーズに繋がられるように働きかけました。
- ・高槻市介護事業者協議会の人材育成部会の企画の研修に Zoom 研修で参加し、職員のスキルアップを目指した。
- ・地域交流として、核家族化しており、高齢者とふれあいの少ない中学生に高齢者との暮らしや通所リハビリテーションの役割と必要性を体験して頂くために、職業体験を毎年春と秋に受け入れを実施してきていたが、コロナ禍で今年度は実施できなかった。

(4) 今後の目標

- 1) 三島南病院に併設されている利点を、地域の皆さまにアナウンスすると共に、より一層の連携を図りたいと考えている。
- 2) 感染対策に取り組み、安心安全な在宅生活を支援したい。
- 3) リハビリの特化と医療ニーズに応える事で他施設との差別化を図りたい。
- 4) レクリエーションの充実を図り、利用者獲得を目指す。
- 5) 利用者のニーズに合わせた利用時間の設定に対応していく。

大阪医科薬科大学三島南病院年報
(令和 3 年度)

令和 5 年 3 月発行

発 行 大阪医科薬科大学三島南病院
編 集 広報委員会
〒569-0856 大阪府高槻市玉川新町 8 番 1 号
TEL (072) 677-1333 FAX (072) 677-1340
<http://www.omcmmh.jp/>
印 刷 (有) すばる印刷
